

ビジョン

本拠点では、資源(水、モノ、人)の流れや循環の不均衡により生じる環境問題・社会問題解決のため、理工学、経済学・人社系科学を含む学際的研究チームにより、「流域圏」を対象としたレジリエントな資源循環を構築し社会実装していく。

概要

地球上の多くの地域で顕在化している、グローバルに共通する一方で地域固有の課題(例えば、水資源枯渇や環境汚染・廃棄物などの環境問題、経済格差や人口集中・スラム・過疎高齢化などの社会問題、さらには国を超えた移民問題やオーバーツーリズム、感染症拡大など)を解決していくことを目的とし、上記のビジョンに基づき組織された学際的・異分野融合型の研究拠点により、流域圏でのレジリエントな資源循環システムを社会実装することを目指す。

連携分野、連携機関

連携分野: 理・工学、農学、人・社系科学、経済学

連携機関:

【国内】東京大、北海道大、福山市立大、立命館大、アサヒグループジャパン ほか
【海外】(アメリカ) UC Santa Cruz, (ブラジル) Univ. Sao Paulo, Sao Paulo State Univ., Env. Res. Inst. Sao Paulo, Inst. Technol. Res. Sao Paulo, (インドネシア) BRIN, (カメルーン) Univ. Bamenda, (ベトナム) An Gian Univ. etc.

「流域圏」を対象としたレジリエントな資源循環の構築

